

『主体的・対話的で深い学び』を実現するための実践研究事業」教材研究会レポート No.3

高知市立潮江東小学校 教材研究会

平成30年5月31日(木)

国語科 第5学年「立場を決めて討論をしよう」 上平田 和代 教諭



授業改善には不断の教材研究が必要であると言われていて、本教材研究会では、教材との関わり方を問い直し、授業づくりの基本を見つめていきます。子供の学びの求めに応えるためには、教師が自らの指導を問い直し、自己更新していくことが大切です。教科の価値やよさを実感できる授業をともに描いていきませんか。

本時の目標

討論モデル動画と原稿文から効果的な質問や答え方のポイントに気づき、それを使って質問ができる。

授業の視点

立場を決めて説得力のある主張をしたり、相手の主張と理由について自分の考えと比べながら聞いたりする力を養いたい。



最終板書

六月二十九日

討論で質問したり答えたりするポイントは何だろう

質問 1
一つ目の理由に対して質問します。水とは繰り返し使えて環境に良いという理由を挙げていましたが、これならごみになってしまいます。一方、ペットボトルは、リサイクルできます。環境に良いことは水だけの良さでないと思いませんか？

質問 2
一つ目の理由に対する質問です。水とは飲み物の温度を保つことですが、すべての水が、温度を保つことができず、温度を保つことができませんか？

答え 1
七月一日の新聞によると、ペットボトルにはリサイクルされていないものが千分ト以上あるそうです。くり返し使うことのできる水のほうが環境に良いと思います。

答え 2
すべての水とかが、温度を保てるわけではありません。確かに温度を保てない水とかがあり、しかし、水とやら温度を保てるものを選ぶという事です。暑い日は冷たいもの、寒い日は暖かいものも飲みたいと思います。ペットボトルならどうしてもすぐに温度が変わってしまいます。しかし、水とやらその日の天候や体調に合わせて好みの温度の飲み物を用意してそのまま保てるものを選ぶことができます。

質問の仕方ポイント
「理由」ということですが、くり返している、思い出せる、答えやすい、相手

答え方のポイント
新聞記事を引用している(事実数値) 納得してくれろ 自分の思いではない

○一つ目の理由に対して
相手が答えやすい
文末表現が問いかけになっている
相手が答えやすい
相手が認められている
相手の考えを受けとめてから
相手を認めている

分かりやすい

調べて

ここがポイント!

能力ベースの学びで大事なことは、「何ができるようになったか」ということです。つまり、本単元では、子供自身が、今までとはちょっと違った、一段レベルアップした話し方ができるようになった自分を自覚することが大切です。そのためには、「表現する場」「しっかりと話をする自分を見つける場」が必要となります。

また、国語の授業づくりの基本として、対象と言葉、言葉と言葉の関係性に気づき、言葉の意味、働き、使い方に着目し、その関係性を問い直し、意味付けることも大切です。本時では、学習対象との出合わせ方と関わり方の工夫が必要であり、身に付けた力を未知の文脈で試す場をいかに設定するかがポイントとなります。

協議の視点

- *話し方や書き方のポイントのよさを引き出すことができていたか。
- *子供たちが目的意識をもつことができていたか。

模擬授業リフレクション

言葉の意味、働き、使い方 いかに着目させるか

模擬授業後の協議では、「質問の仕方のポイントと答え方のポイントには、スキルと内容がある。本時では、どちらも大切にしていけないのではないか。」「今日は、相手意識は考えられていたが、目的が薄かったのではないか。」「『話す・聞く』の指導事項を中心としているが、本時は“原稿を読む”ということに比重を感じた。原稿からよさを見つけるのではなく、DVDを活用してよさを見つけることが大切ではないか。『話す・聞く』の鍛え方の工夫が必要ではないか。」などの意見が出されました。



本時の「言葉」は、「話し言葉」です。VTRを見て、「話し言葉」に注目させ、「相手の立場」



と「話し言葉」の関係性に気付かせます。そして、言葉の意味や働き、使い方に着目しながら、その関係性を説明するということが重要です。つまり何に着目して学習をスタートさせ、教材とどのように関わっていくのが大切なこととなってきます。



“話せる自分”を自覚させる場を

文章が出るのが早過ぎると、「聞く」ということに対して、欲求がなくなってしまいます。VTR中の討論の論点を明確にし、どういう立場

でこれを聞かないといけないのか、「聞き手」としての自分を意識させることが重要です。

また、今日、学習したことと、今まで自分が学んできたこととの関係性を、もう一度、問い直したり、今日学習したことで、話せる自分を自覚させたりすることが大切です。



模擬授業から見てきたこと

授業者が一番勉強になりました。実際、単元に入ると、子供たちとの学びがどう積み重なっていくのか・・・今の段階ではまだ不透明ですが、今日、教えていただいたことを柱に、授業をつくっていきたいと思います。

皆さんからいただいたご意見を生かされるかどうか分かりませんが、「パフォーマンス評価」までできるように頑張りたいと思える時間となりました。上平田 和代 教諭



参加者の声

- 「見方・考え方」を踏まえた1単位時間の授業をどうつくっていくかについて、とても勉強になりました。
- 教材研究の在り方について、今日の内容を今後の授業づくりに生かしていきたいと思います。

- 単元を通して、子供たちにどんな「見方・考え方」を身に付けさせたいのかを教師が明確にもつことが大切だと思いました。そのためには、どんな授業展開を行ったらよいのか、具体的に考えることの大切さを学びました。



子供の期待に応える学びをともにつくりませんか

受付 13:15

check!

次回 平成30年6月29日(金) 授業研究会 13:40から 5年「立場を決めて討論しよう」